



のぼせ、ほてり、いらいら...

更年期症状?!

甲状腺疾患が隠れていませんか!?

更年期症状に出会ったら、甲状腺疾患との鑑別のために

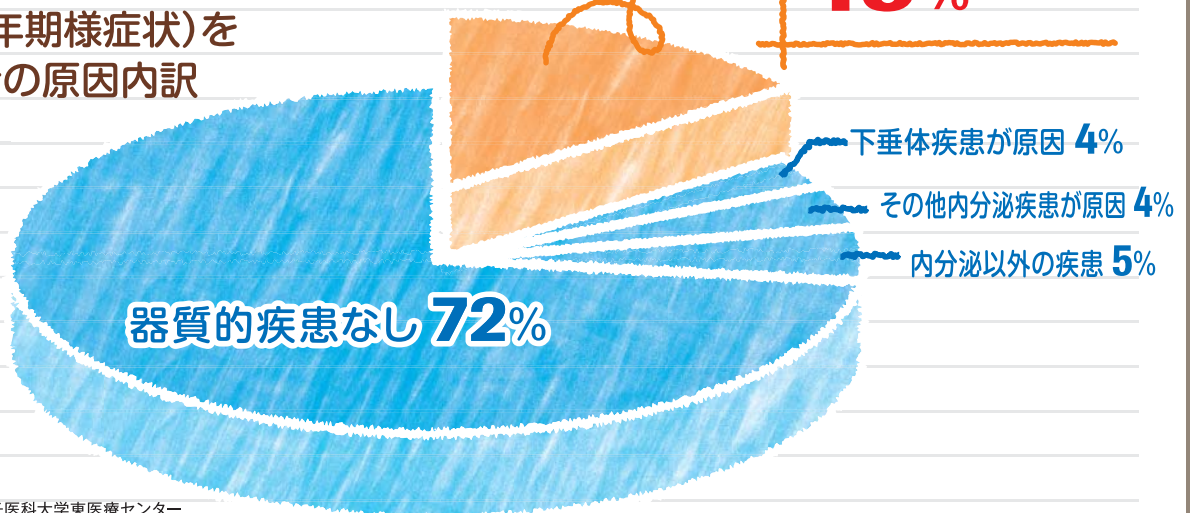
TSH・FT₄

を測定することが重要です。

更年期様症状での受診者の

15%に甲状腺機能異常が認められました。

不定愁訴(更年期様症状)を
訴えた受診者の原因内訳

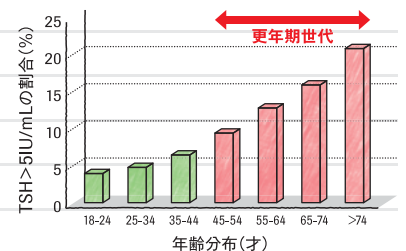


※2007.10~2008.9に東京女子医科大学東医療センター
日暮里クリニックを受診した226名のうち、不定愁訴
(更年期様症状・自律神経症状)を主訴とした195名の原因疾患の内訳

女性の甲状腺機能低下症：
年代別発症頻度

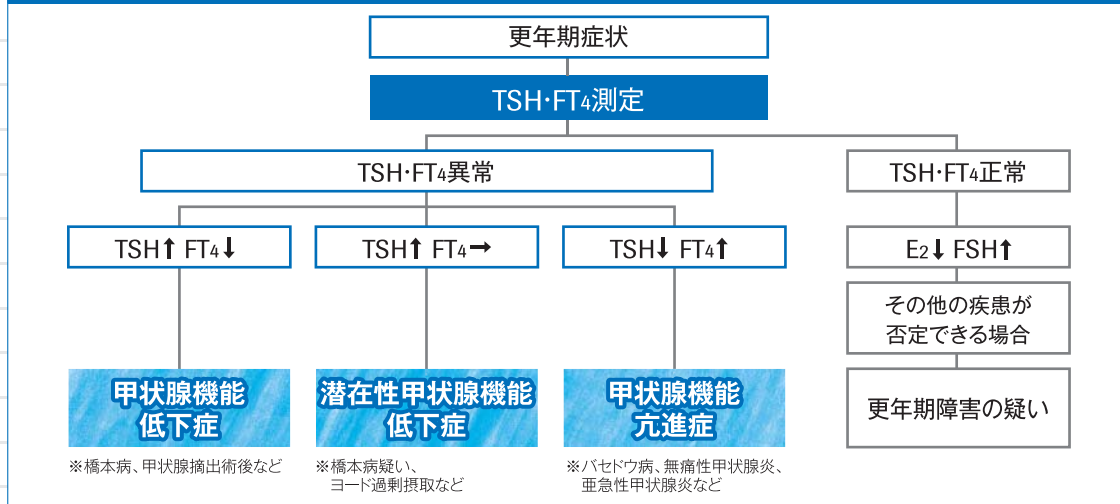
甲状腺機能低下症は、年齢が上がるにつれて
増えていく傾向にあります。

Thyroid 14 Suppl. 1, 2004より引用



女性の更年期症状と甲状腺機能異常の症状はとても似通っています。
更年期障害と診断する前に、甲状腺疾患でないかの確認が大切です。

甲状腺機能異常の除外診断フロー



こんなにも症状が似ている! 更年期症状と甲状腺機能異常

甲状腺機能異常で認められる多くの症状が、更年期症状と似通っているため、鑑別が大切です。

	更年期症状	甲状腺機能亢進症	甲状腺機能低下症
医学的所見	コレステロール ↑→	コレステロール ↓ 頻脈	コレステロール ↑ 徐脈
血管運動神経系症状	ほてり、のぼせ、 発汗過多、動悸、四肢の冷え	発汗過多、動悸	四肢の冷え
精神神経系症状	不安、不眠、抑うつ 気力低下、焦燥感	不安、不眠、焦燥感	抑うつ、気力低下
運動神経系症状	肩こり、 疲れやすい	疲れやすい、 手指振戦	疲れやすい、 腱反射の遅延
その他	無月経・月経不順、排尿障害、 皮膚の乾燥、体重増加傾向	月経不順、体重減少傾向、 暑がり	月経不順、寒がり、 体重増加傾向、皮膚の乾燥

検査要項

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
2391	TSH (甲状腺刺激ホルモン)	血清	0.5 mL	A1→A2	冷蔵	1~2	ECLIA法	0.54~4.54 μIU/mL	D008-09	115*1	甲状腺刺激ホルモン (TSH)
2396	FreeT4 (遊離サイロキシン)	血清	0.3 mL	A1→A2	冷蔵	1~2	ECLIA法	0.97~1.72 ng/dL	D008-13	140*2	遊離サイロキシン (FT4)

*1 負荷試験実施時は別算定→内分泌負荷試験 1.下垂体前葉負荷試験(一連として月1回)1,200点

*2 内分泌学的検査において患者から1回に採取した血液を用いて3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。

イ 3項目以上5項目以下 (410点)
ロ 6項目又は7項目 (630点)
ハ 8項目以上 (900点)

負荷試験実施時は別算定→内分泌負荷試験 3.甲状腺負荷試験(一連として月1回)1,200点